

令和3年度 研修指導センター事業計画

I 事業方針

研修運営を通して県内及び法人内の介護人材の育成を図り、福祉サービスの質の向上を目指すことで、共生社会の一翼を担うことを目的とする。

II 事業内容

1 新型コロナに対する感染防止対策

集合研修では、検温・体調確認表・手指及び共有箇所の消毒・マスク着用・パーテーションの設置・フェイスシールドの使用・会場定員（通常利用の1/2以下）等を徹底すると共に、オンライン研修の導入も含めて、安心・安全な研修環境を提供する。

2 法人内部の職員育成

(1) 研修体系の構築への取り組み

キャリアパスに連動した研修を実施し、職員の意欲向上とスキルアップを目指す。

(2) 法人内研修事業

①階層別研修

組織人として階層ごとの職務遂行に必要な知識の習得と意識を涵養し、次世代を担う人材を育成する。

新規採用職員研修（採用時）	内部：（法人理念・沿革、就業規則・中長期計画、接遇、利用者体験等）
中堅職員研修①（採用4年目）	① 内部：入職6年以上の中堅職員（法人理念・メンバーシップ・中長期計画）
主任研修①（昇任時） 主任研修②（主任昇任4年目～）	① 内部：（法人理念・中長期計画・主任の役割・OJT） ② 内部：（法人理念・中長期計画・リーダーシップ・コンプライアンス・振り返り）
サブリーダー等研修（昇任時）	内部：（法人理念・中長期計画・チームビルディング・リスクマネジメント・ストレスマネジメント）
グループリーダー等研修（昇任時）	外部：介護労働安定センター雇用管理責任者総合コース（雇用・賃金・労働条件・就業規則・社会保険・雇用管理等）
次長・副園長等研修（昇任時）	外部：介護労働安定センター雇用管理責任者専門コース（人事管理・資金管理）
所属長研修（昇任時）	外部：県社協施設長研修（法人の経営改善と経営者の役割）

②目的別研修

法人内の横断的な業務や今後の事業展開に不可欠となる業務等に則した知識や技術を習得することにより、サービスの質の向上を目指す。

採用後 3 年目研修	内部：法人理念・中長期計画・課題解決・振り返り
業務標準化研修	職場内：各職場にて（業務評価の意義・OJT）
認知症ケア研修	高齢者施設認の認知症介護指導者が実施
リスクマネジメント研修	福祉サービスにおけるリスクマネジメント
実務研究助成事業・報告会	職場における研究活動とその報告
その他（必要な研修）	必要に応じて実施

③講師経験による育成

介護職員初任者研修等の講師を努めることを伝達力と指導力を養うための研鑽の場として位置付け、自職場の業務の振り返りとスキルの向上を図る。

④実務研究助成事業

日々の実務の中で直面している課題の研究に対して助成を行い、サービスの質と意欲の向上を支援する。報告会の実施により、研究成果の共有とプレゼン能力の向上を図る。

⑤認知症介護指導者の育成

群馬県からの認知症介護関連受託研修を効果的かつ安定的に実施するため、法人内から研修を計画的に受講させ、県内の認知症ケアに携わる人材育成に貢献すると共に法人全体の認知症ケアのスキルアップを図る。

3 地域の福祉力向上に貢献する事業

（1）介護職員初任者研修

潜在的な介護の担い手であり、就労に意欲的な方に対して、雇用につながる資格取得の支援と、他機関での受講が困難な障害者の資格取得支援に積極的に取り組み、介護人材の育成と確保に貢献する。

（2）群馬県健康福祉部の研修等業務受託

①県受託研修等

高齢者ケア専門研修、認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護フォローアップ研修、認知症対応型サービス事業開設者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、ぐんま認定介護福祉士養成研修、喀痰吸引等指導者講習、権利擁護推進員養成研修を継続受託する。

②認知症介護指導者との連携

群馬県認知症介護指導者の事務局として、認知症介護研究・研修東京センターの世話人会への参加や指導者への情報提供、県内指導者打合せ会、勉強会等の企画運営を行い、研修内容の充実と指導者間の連携を図る。

③オンライン研修の導入

時代に即したデジタル化、コロナ渦や遠隔地からの受講に対応するため、オンラインでの研修運営に着手する。需要状況と質の確保に留意しながら拡張を検討する。

(3) 地域団体に向けて、介護や認知症に関する講習等を開催する。

(4) 明風園サロンぼるかの運営実施に協力し、地域貢献に努める。

Ⅲ 本年度の重点的取組と数値目標

重点的取り組み

(1) オンライン研修の円滑な運営

オンライン研修に関しては、職員の勉強会を開催し、機材やシステム操作について理解を深める。高齢者専門研修の5研修について実施予定。

(2) 受託研修の受講者数確保

コロナ渦での会場定員は避けられないため、受講者へのチラシ配布等で会場定員の確保に努めると共に、オンライン対応の研修を導入する。オンライン研修に関しては、受講者側の環境が未知数なため、定員の80%を目標値とする。

研修別受講者数 (人)				
	認知症介護等研修	ぐんま認定介護福祉士	権利擁護推進員	介護職員初任者研修
R3年度目標	1292	96	32	15
R2年度実績	874	26	31	9

(参考) (新型コロナウイルスの影響で中止となった研修)

R2年度	R1年度
実践者研修2回(定員55名)	認知症介護フォローアップ研修(定員300名)
ぐんま認定介護福祉士養成研修(定員50名)	